

温もりを届けたい、手からころへ.....

たまちゃん通信 33号

2012.10月-1

今月の

情報

http://www.otedama.jp E-mail:honbu@otedama.jp

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302 FAX : 0897-32-0311

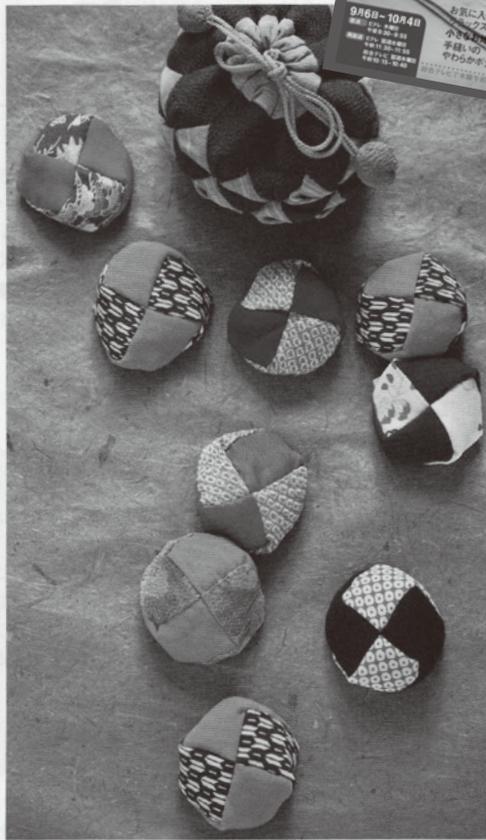
2012年8月21日発行の
NHKテレビテキストのから紹介
総合テレビで木曜午前にも再放送

連載

編集部が会いに行きます！

すてきな
モノ作りの話を
聞かせて。

手を動かし、何かを生み出してきた人たちが。
思い続けることで、「好き」を形にした人たちが。
魅力的な人生の先輩たちに、編集部員が会いに行きました。
●このテーマの放送はありません。



すてきにハンドメイド

【大切な人に贈るてづくり】に宮中会長が紹介される

9月6日・10月4日放送「総合テレビ・Eテレ・木曜」午前9:30~9:55

お手玉の会へようこそ！

宮中雲子さん（日本のお手玉の会会長、詩人）

東京都世田谷区、野川沿いの静かな住宅街の一軒家で、月に1回、和やかな集いが開かれます。「日本のお手玉の会」東京支部の会合です。

にぎやかな輪の中で、ひときわ目立つ陽気な笑い声が聞こえました。その声の主は、宮中雲子さん。雲子さんは詩人として執筆活動をするかたわら、日本のお手玉の会の4代目会長として、お手玉の普及に取り組んでいます。

誰もが少女時代に戻る、お手玉の魅力

日本のお手玉の会は、お手玉の文化を継

承するために活動する全国組織。全国に42の支部があるそうです。

「どこも皆さん熱心に活動されているの。東京支部の活動日は毎月第2日曜日。会員の小泉さんのお宅をお借りして、お手玉を縫ったり、お手玉の競技の技術を高めるための練習をしたりしています。小学校や老人ホームに、お手玉遊びの楽しさを伝えるに行くこともあるの」と、雲子さん。

日本のお手玉の会が発足したのは20年前のこと。愛媛県の新居浜市で、女性たちが町おこしの一環として始めたそうです。その際、地元出身の文化人として活躍する雲



宮中雲子さん。詩人であり、日本のお手玉の会会長。いつも明るく、パワフルで社交的。

●日本のお手玉の会と雲子さん主宰のインターネット木曜手帖のホームページは115ページ参照。